

一般社団法人 日本生態学会

2026 年度 第 2 回通常理事会議事録

1. 日時：2026 年 8 月 1 日（土）13:00～17:25
2. 場所：北海道大学環境科学院 A-103 セミナー室 2 およびオンライン（zoom）
3. 出席者：
 - ・ 理事会構成員（18 名・定足数 10 名以上）
（理事）日浦勉、佐竹暁子、内海俊介、半場祐子、山尾僚、久米篤、木村恵、塩尻かおり、吉田丈人、富松裕、村岡裕由、西廣淳、赤坂宗光、保坂哲朗、瀧本岳、土居秀幸、小林真
 - ・ 監事：立田晴記、木庭啓介
 - ・ オブザーバー：兵藤不二夫、竹内やよい、大澤剛士、北村俊平、中野伸一
 - ・ 事務局：鈴木晶子、橋口陽子
4. 議事概要：

定足数 10 名を超える 17 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第 42 条に従い日浦勉会長を議長として議事を進行した。議事録署名者は、定款第 46 条に則り、日浦勉会長、立田晴記監事、木庭啓介監事、議事録作成者は内海俊介専務理事が担当することとした。

報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
 - ・ 資料 1 に基づいて内海専務理事より学術振興会賞に会員 2 名を推薦したこと、法務局に新理事登記を行ったこと、会員へ事務局所蔵の大会要旨集を貸与したこと、京都大会関連の支払いを行ったことなど庶務 10 件、会計 12 件の報告があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
 - ・ 資料 2 に基づいて兵藤編集長より編集委員の交代、2026 年上半期の編集状況、2025 Journal metrics の上昇、ER シンポ出版状況、特集企画、受賞論文掲載について報告があった。
3. 日本生態学会誌編集委員会報告
 - ・ 資料 3 に基づいて竹内編集長より編集状況について報告があった。

4. 保全生態学研究編集委員会報告

- ・ 資料 4 に基づいて大澤編集長より出版業者を交えて編集作業の意見交換を行ったこと、特集投稿時のガイドライン整備を行っていること、刊行状況について報告があった。

5. 出版状況報告

- ・ 資料 5 に基づいて久米理事より科研費研究成果公開促進費状況、Society Publishers' Coalition における OMB への対応、編集システムの移行準備、国内外学術集会への出展、2025 Journal Impact Factor の発表等についての報告があった。

6. 大会報告 (ESJ73 報告、ESJ74 準備状況)

- ・ 資料 6 に基づいて土居理事より ESJ73 (京都) について、過去最高の参加者数であったこと、発表数も多く会場費用が予定より嵩んだとの報告があった。
- ・ 資料 6 に基づいて北村大会企画委員長より ESJ74 (富山) 準備状況について、Web サイト公開、ジュニアポスターの応募数制限実施、配信について等準備を進めているとの報告があった。

7. 大会運営改革 TF 報告

- ・ 資料 7 に基づいて吉田理事より事務局の大会運営担当体制、各地区会宛に依頼した ESJ76 以降の大会開催地の選定方法アンケートの結果が報告された。
- ・ 今後の大会開催の方針として、大会開催地域を 6 ユニットに再編すること、大会参加費は一般参加者で 2 万円を超えない運営方法を検討すること、補助金などを活用し開催地域のコンベンション業者に業務委託して大会実行委員会の負担を減らすこと、オンライン形態はポスターと受賞記念講演に限定し経費を抑制すること、を確認した。

8. 各種委員会報告 (情報交流支援、キャリア支援)

<情報交流支援専門委員会>

- ・ 資料 8 に基づいて瀧本理事より Jeconet 投稿への対応について報告があり、引き続き学会内での検討が必要な旨の提案があった。

<キャリア支援専門委員会>

- ・ 資料 8 に基づいて木村理事より HP に「ダイバーシティ推進に関する参考資料集」を掲載したこと、男女共同参画学協会連絡会アンケート

諮問案に生態学会として賛成したとの報告があった。

9. Global Ecology Alliance (GEA) 設立に向けた検討状況報告

- ・ 資料 9 に基づいて小林理事より GEA の設立背景・提案、検討状況、生態学会での検討状況の説明があった。
- ・ 今後活動概要を検討するグループ (WG) を立ち上げる予定であるが、日本生態学会から WG へのノミネートは行わず、状況を見ながら必要な意見を伝えることになった。

10. 学会 Web サイトリニューアル進捗状況報告

- ・ 小林理事よりウェブサイト改修の委託業者が決まり、新サイトを 12 月の理事会を目途に作製、理事会等の意見を踏まえて 2027 年 3 月に稼働開始する予定との報告があった。

11. EASES 報告

- ・ 中野 EAFES 担当委員より 7 月に韓国生態学会および学会長あてにビデオメッセージを送ったこと、次回 EAFES (中国・杭州) の準備開始のため 1 回の会合が始まるとの報告があった。

審議事項

第 1 号議案 Ecological Research 投稿規定改訂について

- ・ 資料 2 に基づいて兵藤編集長より ER 投稿規定改訂について説明・提案があり全会一致で承認された。

第 2 号議案 入会及び会費規則改訂 (生態誌年 1 号化) について

- ・ 資料 3 に基づいて竹内編集長より生態誌の発行回数を 2027 年以降現行の年 2 回発行 (3 月・9 月) から年 1 回発行 (9 月) へ変更する案について説明があり、内海専務理事より年 1 号化に伴う入会及び会費規則改訂の説明・提案があり全会一致で承認された。
- ・ 規則改訂には総会承認が必要なためメールによる臨時総会にて代議員に諮る。

第 3 号議案 委員の承認について

- ・ 資料 6 に基づいて北村大会企画委員長より追加の委員候補者について提案があり、全会一致で承認された。

第 4 号議案 ESJ74 について（大会参加費・大会会場）

- ・資料 6 に基づいて北村大会企画委員長より ESJ74 大会会場（富山国際会議場・富山県民会館）に加えて富山市民プラザを追加する提案があり、全会一致で承認された。
- ・大会参加費について一般早期：17,000 円、一般通常：19,000 円、学生早期 8,500 円、学生通常：9,500 円とする提案があり、全会一致で承認された。

第 5 号議案 大会運営サポート業者依頼について

- ・資料 7 に基づいて年内より日浦会長から大会運営補助を業者委託すること、業者選定はタスクフォースに一任する提案があり、全会一致で承認された。

第 6 号議案 キャリア支援専門委員会審議事項

- ・資料 8 に基づいて木村理事より作成中の「誰もが快適にフィールドワークを行うための野外調査マニュアル」について専門家による査読・リーガルチェックに対して学会から費用 10 万円支出の依頼提案があり、全会一致で承認された。

第 7 号議案 大会規則改訂について

- ・資料 10 に基づいて内海専務理事より大会規則での大会プログラム・要旨集の著作権の記載について説明および提案があり、全会一致で承認された。

その他

- ・資料 11 に基づいてネイチャープレナーアワードについて日浦会長から説明があり、Jeconet での告知および生態学会サイトに掲載の協力を行うことになった。
- ・事務局の賃貸物件が今秋改修されることになり、工事期間の 1 年ほど別の物件に引っ越し予定との報告があった。

閉会：以上の議事を終え、17 時 25 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2026 年 8 月 1 日

会 長 ： 日 浦 勉 ⑩

監 事 ： 立 田 晴 記 ⑩

木 庭 啓 介 ⑩